

21 A案

教材名：初心忘るべからず	
主題名：伝統を伝える	内容項目：C（17）我が国の伝統と文化の尊重、 国を愛する態度

- 1 **ねらい** 我が国の優れた伝統と文化についての理解を深め、その価値を継承し、新たな文化を創造していこうとする心情を育てる。

2 授業展開例（ゲストティーチャーをGTと示す）

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）
<p>◇ 我が国の伝統や文化について話し合う。</p> <p>① 能について知っていることはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・金沢に能楽堂ってあるらしいよ・お面をつけて、着物を着ている・昔から伝わっているもの <p>◇ 映像資料「初心忘るべからず」を視聴し、能や狂言について知った後、教材を読んで話し合う。</p> <p>② 藪さんの生き方を支えているものは何でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・能に関わってくれている人への感謝の思い・観てくれる人に伝統芸能の美しさや楽しさを少しでも分かって欲しいという思い・能を好きになってほしいという思い・日本人の心を理解してほしいという思い <p>③ 藪さんの生き方についてあなたは どう思いますか。理由も合わせて発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・すごいと思う なぜならば自分の好きな能の道を究めたから・自分はまねできないと思う なぜならば成功するかしないか分からないのに、教師を辞めて、能に人生をかけているのが信じられないから・能に対する深い思い入れがすごい なぜそんな思いになるのか分からない <p>◇ 自分との関わりで考える。</p> <p>④ あなたが伝統や文化を守っていくために大切にしていきたいことはどんなことでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・伝統や文化を体験したり、触れたりすること・伝統や文化の良さを知り、人に伝えられるようにすること・どんな伝統や文化があるのか調べること・歴史を学び、本物を観て、自分が伝統や文化を知ること

3 指導上の留意点及び工夫

- ・②では、P 6 2の写真を見せながら問いかけることによって、舞っているときの心情をじっくりと考えられるようにしたい。
- ・④では、生徒の意見が多様に広がるのが考えられるが、藪さんの生き方を踏まえて考えさせることで、内容項目との関連性を図るようにする。

4 参考資料

- ・映像資料集（中学校）「21 初心忘るべからず」

21 B案

教材名：初心忘るべからず	
主題名：伝統を伝える	内容項目：C (17) 我が国の伝統と文化の尊重、 国を愛する態度

- 1 **ねらい** 我が国の優れた伝統と文化についての理解を深め、その価値を継承し、新たな文化を創造していこうとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）
<p>◇ 映像資料を視聴し、能や狂言について知った後、我が国の伝統や文化について話し合う。</p> <p>① 我が国の伝統や文化を体験したり、触れたりしたことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・音楽の授業で長唄をうたった・お祭りで浴衣を着た・輪島塗のはしを使っている・書道を習っている <p>◇ 教材を読んで話し合う。</p> <p>② 次の世代や他の国へ我が国の伝統や文化を伝えることは、なぜ大切なのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・650年もずっと変わらない良さがあるから、無くさず受け継ぎたいから・無くしてしまったものは、簡単には元に戻らないから・これまでそれを支えてきた人々の努力や思いが詰まったものが文化で、それを伝えることはその思いを伝えることでもあるから・日本を知ってもらうことで、日本人の考え方も伝わり理解されるから <p>③ 「昔の人の心を感じながら、今を生きる」とは、どういうことだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・昔から受け継がれている伝統文化の心を大切にしながらも、現代や海外の人々にもそれが伝わるようにしていかなければならないということ・大切な部分はきちんと残しながら、時代に合わせて新しい部分も取り入れていくこと・一人一人が伝統文化の良さを知って、次の世代につなげていこうとする気持ちをもつこと まずは、自分たちがよさを知ろうとすることが必要 <p>◇ G Tの話聞く。</p> <p>◇ 自分自身を見つめる。</p> <p>④ 今日の授業で考えさせられたことや、感じ取ったことを振り返ってみましょう。</p>

3 指導上の留意点及び工夫

- ・②では、個人思考後、グループ交流と全体交流を取り入れ、多様な考えに触れさせるとよい。
- ・G Tには日本の伝統や文化に関わっている方を招き、その素晴らしさやそれを継承し、発展させていくことへの思いを話していただくことで、伝統や文化を継承し、新たな文化を創造していこうとする気持ちが高まるようにしたい。

4 参考資料

- ・映像資料集（中学校）「21 初心忘るべからず」